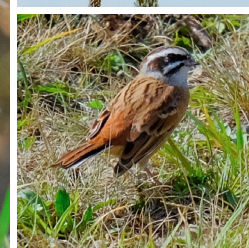
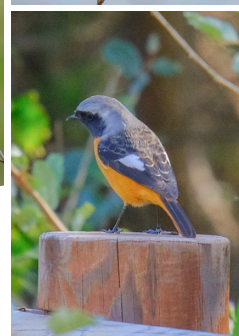


入場無料！

えりも町郷土資料館講演会

襟裳岬の 渡り鳥を知ろう！



襟裳岬は「北海道の背骨」とも呼ばれる日高山脈のほぼ南端に位置しています。周辺には植樹によって育まれたクロマツの森や、百人浜、悲恋沼など、豊かな自然環境が広がり、令和6年に新しく指定された日高山脈襟裳十勝国立公園の範囲にも含まれています。襟裳岬ではどのような鳥が見られるのか、襟裳岬の鳥はどこに渡っていくのかなどについて、分かりやすくご紹介します。

日にち 令和8(2026)年
10月10日 土曜日

場所 えりも町
林業総合センター
(幌泉郡えりも町字えりも岬)

時間 13:00 ~ 15:00
※12:30 開場

13:05	講演1	14:45	質疑応答
13:25	講演2	15:00	終了
14:15	講演3		

対象 一般 (30名程度)

主催 えりも町教育委員会
(担当) 社会教育課 文化財係

申込方法 ①HARP フォームから
オンライン申込
(<https://www.harp.lg.jp/10h05wvM>)
②郷土資料館へ電話で申込
(01466-2-2410) ※火曜休館



襟裳岬で鳥類標識調査：
足環や発信器で渡り鳥を調べる

講師 小田谷嘉弥 氏

千葉県立中央博物館 研究員

埼玉県生まれ、神奈川県育ち。専門は鳥類学・動物生態学。見つけにくい鳥や見分けにくい鳥の形態や生態を明らかにするために、野外で鳥を捕まえたり、博物館の標本を調べたりしている。

標識調査は、鳥にシリアルナンバーの刻印の刻まれた足環を付けて、渡りなどの生態を調べる調査です。私たちは、襟裳岬の松林で2023年から調査を始めました。これまでの3年間の調査で明らかになったことや、関東地方の越冬地から追跡したヤマシギの渡りについてをご紹介します。



襟裳岬の渡り鳥：
見られる種の紹介と渡り研究

講師 及川樹也 氏

北海道大学 環境科学院 生物圏科学専攻 修士2年

千葉県出身。帯広畜産大学を卒業後、北海道大学へ進学。鳥類を対象に夜間生態学の研究を行っている。趣味は鳥・植物観察、四つ葉のクローバー探し、読書。趣味と研究を合わせるとほぼ毎月えりもに来ている。

襟裳岬では春と秋に多種多様な渡り鳥が観察されますが、どんな鳥がいつ・どのくらい渡っているのでしょうか。私たちは、よくわかっていない「夜の渡り」について、襟裳岬で調査を進めてきました。これまでの研究で明らかになった襟裳岬の渡り鳥の生態をご紹介します。

えりも町郷土資料館ほろいすみ・水産の館

〒058-0203 北海道幌泉郡えりも町字新浜 207 番地
電話番号：01466-2-2410 / FAX：01466-4-7966
開館時間：9:00 ~ 17:00 ※最終入館は 16:30
休 館：毎週火曜日、祝日の翌日、年末年始

公式 HP・BLOG・X も更新しています！



QRコードは㈱デンソーウェブの登録商標です。